



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2018 - 19 会長主題

地元とつながろう

| | | |
|------------|---------------------|------------------------------------|
| あずさ部長 | 廣瀬 健 (甲府 21) | 「未来はそれに備える人のものである」 |
| 東日本区理事 | 宮内友弥 (東京武蔵野多摩) | 「為せば、成る」 |
| アジア太平洋地域会長 | 田中博之 (東京多摩みなみ) | “ Action ” |
| 国際会長 | Moon Sang Bong (韓国) | “ Yes, we can change ” 「私たちは変えられる」 |

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠
直前会長 上妻英夫 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2019年 3月 例会
＜BF、メネットの月＞

とき 3月19日 (火) 14:30-16:30
ところ 早稲田奉仕園 102号室

受付 飯島 (愛) さん・功能さん
司会 上妻さん
開会点鐘 会長
モットー・ワイズソング 一同
聖句朗読・祈祷 功能さん
ゲスト・ビジター紹介 会長
ハッピーバースデー
卓話 「出会いと学びー 私の日本体験」
ミャンマー レストラン「ミンガラバー」
経営者 ユウウェーさん
ニコニコ 一同
報告・連絡事項 各担当
閉会点鐘 会長
当番 (第1班) 功能、上妻、尾内、飯島 (愛)

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
that accompanies every right ”

今月の聖句

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。

ペトロの手紙 I 4章 10節

3月 HAPPY BIRTHDAY

卓話者 ご紹介

ユウウェーさん
ミャンマー ヤンゴン市出身
日本在住 31年。高田馬場にお住まいで
ミャンマー レストラン「ミンガラバー」
を経営して 21年になられます。

2月報告

| | | |
|----------|---------------------|----------|
| 会員在籍数 | | 13名 |
| 例会出席者 | メン | 7名 |
| | メネット | 1名 |
| 会員出席率 | | 54% |
| ゲスト・ビジター | | 1名 |
| | | 合計 8名 |
| ニコニコ | 6,000円 (累計 31,536円) | |
| B F | 国内切手 400g | 外国切手 - g |



2019年2月例会 報告

と き：2月19日 14:30-16:30
 ところ：早稲田奉仕園 102号室
 出席者：浅羽、飯島（愛）、尾内、尾内（規）、
 功能、中村、増野、

7名
 ゲスト・ビジター：服部節子さん（たんぼぼ）
 計 8名

1月に引き続いて自由な語らいの時を持ちました。司会は増野さん、まずは、各自の近況を短く話すことから始まりました。

増野：左目の白内障手術を受けた。良く見えるようになった。右目の方は昔手術をやった。

飯島（愛）：なるべく歩くようにしている。犬を引っ張って歩いている。

服部：品川区主催の60歳以上の人達の展示会にスカーフの上のみかんを描いた色鉛筆画を出したところ銀賞をいただいて、嬉しかった。

中村：気力がなくなってきた。家の引っ越しをした。東京Yのチャリティーゴルフは頑張る。

功能：視力は1.2あるが、本を読んでも目がすぐつかれてしまう。（ブルーベリージャムが良い、という助言があった。）

尾内（規）：落語を近くの寄席で聞いて楽しんでいる。（たんぼぼクラブは4月例会でたんぼぼ寄席を開くとのこと。）

尾内：確定申告は息子が仕事上専門なので手伝ってくれてもうできあがった。

浅羽：日本語学院のスピーチコンテストに行ってきた。みんな上手だった。

以上で、近況報告が終わり、続いて報告に移りました。

まず、尾内さんから、金本さんのお母様が93歳で召天され、金本さんの兄上が牧師をされている教会で葬儀が行われたとのこと。

次に、浅羽さんから、六甲山YMCAに行つてSDGs（持続可能な開発目標）の17目標の勉強をしてきたが、これがどういうことかは、YMCA内でもあまり知られていないのではないか、という感想があった。

次に、ワイズの自由献金（CS、ASF、FF、BF、TOF、RBM、YES）について、今年度は山手の在籍人数分を拠出するが、次年度以降については再検討することとした。

3月例会については、地域共生の観点から、日本語を話せる外国人を招いて卓話をお願いすることとした。

卓話者は後日、中村さんの紹介で高田馬場でミャンマーレストランを長く経営されているユウウェーさんをお願いし、お引き受けいただいた。

たんぼぼクラブの服部さんからは、3月2日に開催されるlibyチャリティーコンサートのご案内とチケット販売が行われた。

東京サンライズクラブ設立30周年記念祝会の山手クラブからの出席者を確認した。

最後に、3月例会の場所は引き続き、奉仕園のセミナーハウスを使用することになった。

.....

会費の納入は、会計（中村君）への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」

2月 ヨルダン会報告

と き：2月27日(水) 14:30~16:00

ところ：華屋与兵衛 高田馬場店

出席：上妻、中村、飯野

議題

1) 3月例会の件

日時 19日(火) 14:30~16:30

会場 早稲田奉仕園 102号室

卓話 ユウエー様(ミャンマーレストラン「ミンガラバー」経営)

20余年間東京に生活し、夫婦で仕事しておられるユウエーさんから、

(1)ご自身の日本体験一出会いと学び

(2)首都圏に住むミャンマー出身者・家族の日常経験すること、

(3)地元の人たちとの共生を進めるためのヒントなどを伺う。

演題、略歴を本人に問い合わせる。(題案「出会いと学び—私たちの日本体験」)

会場は20人くらいしか入れないが、他クラブ、地元町会にも案内する。

2) 東京サンライズクラブ30周年記念祝会 出席者

上妻、飯野、功能、中村

上妻メンには挨拶をお願いしています。

少人数でしたが今回もワイズ・YMCAのことを青年に戻って議論出来ました。

以上

○第2回評議会は延期でなく中止になりました

そこで決議するはずだった3議案は

1) 19-20年度役員承認の件

2) 19-20年度時期部長承認の件

3) 部選出代議員の件(廣瀬現部長を推薦)

また、次年度評議会の3ホストクラブも未定。

文書決議はそれに該当する規定が部則にないので、5月11日の評議会にかけるとのことである。次期役員のうち、甲府と長野の会長と次期部長(予定ではサンライズ)が未定。

13名分の資料は3月例会で配布する。

YMCAニュース

1. 3月10日 高田馬場 東日本大震災・自然災害復興支援街頭募金

東日本大震災から8年、熊本大地震から丸3年が経とうとしています。東京YMCAは東日本大震災直後から宮城県石巻市を拠点に支援活動をしているほか、福島の子を対象としたリフレッシュキャンプを70回以上実施し、約2800人を招待してきました。熊本地震では、スタッフ派遣や募金活動によって、現地の熊本YMCAが行う避難所および仮設住宅での支援活動をサポートしています。

震災や復興への関心が薄れてしまう中、これらの活動を「心に寄り添う支援活動」として継続していけるよう、高田馬場駅前街頭募金活動をおこないます。私たちのできる復興支援の一つとして、皆さまと共に実施できれば幸いです。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

日時：3月10日(日) 11時~15時

場所：高田馬場駅周辺

15分程度の短い時間でもかまいません。皆様のご参加をお待ちしています。

2. 山手会館耐震補修工事

2月末に山手学舎、高等学院、語学プログラムの引越しが行われ、山手センターの活気が少しずつ戻ってきました。館内は、引越しの荷物やまだ未完成のところなどありますが、着々と新年度に向けて準備が進んでいます。3月19日にホテル学校を中心とした最後の引越しが行われます。

新事務所が完成し、いよいよ最終工事に入りました。2月28日(木)には、代替地で実施していた山手学舎、高等学院、語学プログラム等が山手センターに帰ってきます。

(星住秀一)

大森兵蔵のこと

松本 竹弘

今月もブリテンをありがとうございました。

「いでてん」の記載がありました。1年前にいでてんの資料を集めるにあたり、NHKの方が東京YMCAの資料室に来ました。NHKはできれば東京YMCAの初代体育館を映像として再現したいとか、大森兵蔵の写真はないかなどと言っていたので、スタッフ13人体制であらゆる資料を調べ上げているとの報告がありました。

この時は、岩瀬さんが対応をしてくださいましたが、阿部サダヲが演じている田畑政治(たばたまさじ)さんを岩瀬さんは直接見たことがあったそうです。

大森兵蔵さんについては、私は「白夜のオリンピック〜幻の大森兵蔵をもとめて」(水谷豊著)を読んで、大変苦勞をされた方だと知りました。このような大先輩がたくさんいて、YMCAが築かれたことを改めて感じた次第です。

「いでてん」で大森兵蔵、妻のアニー・シェプレー(大森安仁子)が登場していますが、大森兵蔵31歳、アニー50歳で結婚していますので、このアニー・シェプレーさんも覚悟を持った方だと感じました。アニー・シェプレーさんは東京YMCAの英語講師もしていました。

最近、「室内プール100年」「体育館100年」、また、2020年には「キャンプ100年」など、YMCAの歴史を感じるが増えました。

YMCAは来年で140年(2020年)を迎えます。多くの方に支えられてこられたことを「実感」するチャンスでもあります。そして、その実感は「感謝」の気持ちに結びつき、これからのYMCA運動を推進していく力になると思っています。

(ウエルネス東陽町主任)



＜上妻英夫さん＞「如月や 切らずの恩情 歩道柿」1月31日、突然無断で、樹木伐採するとの下げ札が3ヶ所掛けられた。国道事務出張所に種々記して嘆願したところ、14日に近くの伐採が行われたが、柿、桃、南天は切られず。また今年も柿が生ることでしょう。

＜浅羽俊一郎さん＞2月には江東クラブの例会を表敬。昨年11月に同クラブとベイサイドクラブが幼稚園児のお下がりの制服をカンボジアの子どもたちに寄贈しに行った報告でした。事前の幼稚園の先生方との連携、現地でのスライドの感動的な数日間の説明は素人はだしの感動的なストーリーでした。今後コースや若手職員を連れて行ってもらいたい。

3月2日は第20回Libyチャリティコンサート。越智さんは病を押して、20回まで委員長を続投。会場の阿佐ヶ谷教会は音響が良く、三菱商事のコーラスは特に素晴らしかったです。他クラブの面々もご機嫌。たんぽぽクラブのエネルギーに脱帽!

＜福島多恵子さん＞大森兵蔵と嘉納治五郎の記事も楽しく拝見いたしました。金栗四三は、わたしのふるさと熊本人なので、興味をもって視聴しています。

＜戸坂昇子さん＞「いでてん」のドラマは私も観ております。以前に東京YMCA本部にもNHKから取材が入り資料提供もしていますので、YMCAがクローズアップされる場面があるといいな、と思っております。

＜沖 利柯さん＞いつも有難うございます。私も「いでてん」を毎回楽しみにしております。
.....

編集後記 ○ 近くの公園に行くと白梅も紅梅も美しく咲いて香気がただよっていました。

○ 「いでてん」は東京Yの皆さんがとても関心をおもちのようで、おたよりをたくさん寄せていただき、ありがとうございました。

○ 我孫子では市の「広報あびこ」2月号が1ページ全面を「嘉納治五郎」特集にしました。桜の季節も近く、これから我孫子を訪ねてくる人もますます増えそうです。
(F. K)